

8月15日(火) 仙台～帰途

晴

○今日は最終日。昨日の悪夢を何とか脱して仙台の永田さんのお宅に寄ってから帰途に着く。

・早朝4時、道の駅・上品の郷駐車場。

隣の車のエンジン音で目が覚めた、その後眠れない。とんでもない駐車場だった。



道の駅・上品の郷

- ・例のチェアを出して朝食をとっていたら6:00ごろ突然大雨が振り出してきて結構濡れた。車内に入って最後の日記を書き始めた。雨もすぐにおさまったので再度チェアを出して朝食を再開。残り物の整理も兼ねおにぎり、アンパン、キュウリ、トマトとコーヒーの朝食をすませる。
- ・車内整理をしてから9時過ぎに帰路の南下を開始。石巻に向けて45号線を走る。天気もち直して今日も真夏の太陽が暑く照らす。お盆休みの三陸の海岸線、さすがに車も多く流れが悪い。



松島

・まず松島に立ち寄ろうとしたが、駐車場が満杯でおまけに有料。少し離れた、公園の無料駐車場に止める。ここからでも松島の一部は覗ける。
写真を数枚撮って仙台へ急ぐ。



伊達政宗公の像

- ・仙台といえば青葉城。カーナビの指図通りに青葉城の駐車場へ10時過ぎに到着。ここもお盆休みのためか満杯、滑り込みセーフで駐車できた(400円)。公園というにはあまりにも貧弱、伊達政宗公像の写真を撮りさっさと退散した。その名も有名な「青葉城」の城址公園でぜひ見たいと訪れたのだが、駐車場と土産物屋と人だけだかりだけで何も見るところの無い公園だ。今まで回ってきた各地の公園の中で最低、昔の名残も情緒のかけらも感じられない。



青葉城から仙台市街を望む



仙台・永田邸の前でご夫妻と

- ・11時前にカーナビに導かれるままに、先ほど電話しておいた永田様の玄関先に到着した。久しぶりにお会いする元気な姿の永田夫妻に迎え入れられる。ずうずうしくもお宅に上がりこみ多恵子夫人がわざわざ買出しにしてくれたおいしいお寿司をご馳走になった。久しぶりに旨いものを口にした。もちろんお寿司以外にも手作りのご馳走を並べていただいた。
- ・真夏の真昼間だというのに開け放たれた廊下から涼しい風が吹きぬけ、全く暑さを感じず爽やかで気持ちがいい。さすが北の杜の都、エアコンなど必要ないとのことだ。

・一休みした後今回の山旅で撮影しパソコンに取り込んできた2000余の写真をお見せしながらのお土産話。撮ってきた花の中に名前のわからない花が多数あるので、その名を教えてもらった。ご夫婦ともに山が好きで花の名前を良く知っている。特に多恵子夫人は花の知識では卓越した方だから片っ端から名前が出てくる。千枚以上ある花の写真を一枚ずつ見て名前を聞いては書き込んで行くのだから時間がかかるし、楽しいのであつという間に時間が過ぎ半分ちょっとの秋田駒ヶ岳あたりで4時を回ってしまった。あまり長居も失礼だし少々疲れたので残りは後ほど別の機会にと作業を中断。コーヒーをご馳走になって5時過ぎに帰途につく。

・「泉SA」に最近出来たというETC専用の入口から東北自動車道に乗る。このあたりは車の量もさほど多くなくすいすいと走る。今日はお盆の15日、ラジオから渋滞情報がさかんに流れる。渋滞に巻き込まれてもともとと覚悟は出来ている。幸運にも渋滞情報が出ていた数ヶ所をそんなに止められることもなく無事通過し、最後の「渋滞40分」の予報の上河内あたりも20分くらいの渋滞で通過できた。

・昨日の苦しさを再度味わいたくないので、途中ほぼSAごとに停車して小用をしたので今日は体調良好。

・ETCのおかげで浦和の料金所はスイスイと通過、首都高速もスイスイと思いきや、4号線（渋谷線）に入ったらとたんに大渋滞が始まった。夜も11時過ぎだというのにこの車の量は！お盆の帰りか、それともこれから盆休みで出かけるのか。三軒茶屋あたりまで牛歩が続いた。東名高速に入るとさすがに流れがよく、100km走行、12時半過ぎに無事帰宅した。久しぶりの我が家で、風呂、ビール、手足を伸ばしてベッドで熟睡。

**** 半月の長旅、危ないこともあったが、無事帰還 ****